

WIDEX ALLURE™

取扱説明書

WIDEX ALLURE™ファミリー

ABRD1 モデル
BTE
(耳かけ型補聴器)



WIDEX

SOUND LIKE NO OTHER

お客様の補聴器

(販売店で記入します)

これは、お使いの補聴器で使用可能なプログラムのリストです。

各プログラムの使用に関する詳細は「カスタマイズ」をご覧ください。

補聴器のプログラム：

プログラム

ユニバーサル (万能)

PureSound

ミュージック

テレコイル

表に記載されているプログラム名は既定のものです。利用できる他の名前を使用する場合は、表に新しい名前を記入してください。これにより、補聴器でご利用可能なプログラムがいつでも分かります。

本書をお読みください

補聴器のご使用前に、本書および「ワイデックス補聴器イヤセット」に記載されている指示をよくお読みください。また、充電器の取扱説明書も必ずお読みください。

音声伝送&ワイヤレスコントロール

本補聴器は、スマートフォンおよびその他の機器から音声伝送できるだけでなく、直接ワイヤレスコントロールも可能です。詳細については、販売店にお問い合わせになるか、ウェブサイトをご覧ください：www.widex.com。

本補聴器は ALLURE アプリからワイヤレスで操作できます。他社製のアプリで補聴器をご使用になる場合、またはアプリを他の機器でご使用になる場合、当社は一切責任を負いません。アプリの詳細については、本書の該当箇所をご覧ください。

目次

安全に関する重要な情報.....	7
お客様の補聴器.....	16
はじめに.....	16
各部の名称.....	17
使用条件.....	18
ご使用にあたって.....	18
充電付き補聴器.....	18
意図する目的/意図する使用.....	18
充電.....	19
使用時間&充電時間.....	20
動作と充電の条件.....	21
保管と輸送条件.....	23
使用方法.....	24
補聴器電源のオン/オフ.....	24
補聴器の装着と取り外し.....	25
補聴器の装着.....	25
補聴器の取り外し.....	25
カスタマイズ.....	26
プログラム.....	26
音声とライトインジケータによるお知らせ.....	28

通信相手未検出時の警告	30
音とプログラムの調整.....	31
スマートフォンとのペアリング.....	33
Bluetooth 経由でスマートフォンに接続する方法	33
補聴器をアプリに接続する方法.....	33
iPhone との音信号の伝送.....	33
Android スマートフォンと補聴器を使用する方法... ..	34
iPhone の通話で補聴器を双方向ヘッドセットとして 使用する方法.....	34
Bluetooth 接続を切断する方法.....	36
スマートフォンとの互換性.....	36
お手入れ.....	37
用具.....	37
ワックスガード.....	38
Widex CHARGE n CLEAN.....	38
アクセサリ.....	39
トラブルシューティング.....	40
機内での使用について.....	45
規制情報.....	46
EU 指令.....	46

指令 2014/53/EU.....	46
廃棄に関する情報.....	47
FCC/ISED 適合宣言.....	47
記号.....	51
ライセンスと確認書.....	53
オープンソースに関する確認書.....	53
MIT license.....	53

安全に関する重要な情報

補聴器の使用を開始する前に以下のページをよくお読みください。



警告

使用条件に従ってください。

極端な高温（火、電子レンジ、IH 調理器、その他の高誘導磁場）や直射日光から本機を保護するため、特に注意してください。

補聴器は、承認された充電器のみで充電してください。

サポートについては販売店にお問い合わせください。

本機を分解しないでください。

爆発性環境では本機を使用しないでください。

変形したり、明らかに破損している機器は使用しないでください。

充電後の性能が著しく低下している場合は本機を使用しないでください。販売店に機器を返却してください。

火や水の中に本機を廃棄しないでください。



警告

交換や修理は必ず専門家に依頼してください。そのため、リチウムイオン再充電電池の修理や交換はご自身で行わないでください。

万が一、リチウムイオン再充電電池が破裂または爆発した場合は、可燃物を近づけないでください。

上記のいずれかのケースに該当する場合は、販売店に機器を返却してください。



警告

接触アレルギーが判明している場合は、補聴器を使用する前にアレルゲンの有無について補聴器メーカーにご相談ください。補聴器装用後にアレルギー反応が現れた場合は、直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。



警告

窒息の危険！

補聴器には飲み込めるほど小さな部品が含まれています。

- 補聴器、電池、付属品は、お子様や知的障がいのある方の手の届かないところに保管してください。
- 部品を飲み込んだ場合は、直ちに医師または病院で診てもらってください。



警告

使用者の残存聴力を損なう危険性があります

出力音圧レベルが 132 dB SPL 以上の補聴器の場合。

- 本機を装用するときは、特に注意してください。



警告

使用者の残存聴力を損なう危険性があります

ご自身のニーズに合わせて特別に調整された補聴器のみを使用してください。



**警告
爆発の危険！**

爆発性環境（採掘場など）では補聴器を使用しないでください。



**警告
負傷、火災、爆発の危険！**

リチウムイオン充電電池と補聴器は、地域の規則に従って輸送してください。



**警告
負傷、火災、爆発の危険！**

リチウムイオン充電電池は本機に恒久的に内蔵されています。誤った使い方をすると、リチウムイオン充電電池が破裂することがあります。



**警告
感電の危険！**

充電器は、IEC 60950-1 および/または IEC 62368-1 に準拠した USB 電源のみに接続してください。



**警告
負傷の危険！**

明らかに損傷している機器は使用せず、販売店に返却してください。

**警告****小さな部品による窒息の危険！**

この補聴器は、乳幼児、3歳未満の小児、知的障がいを含む有する方の装用を意図したものではありません。

**警告****埋め込み型機器への干渉。**

本機は、ANSI/AAMI/ISO 14117:2012（埋め込み型医療機器の電磁両立性規格）に準拠するすべての埋め込み型電子機器に使用できます。

埋め込み型機器がANSI/AAMI/ISO 14117:2012規格に準拠していない場合は、干渉のリスクに関する情報を埋め込み型機器のメーカーにお問い合わせください。

**警告**

お使いにならない時は補聴器を取り外してください。取り外しておくことにより、外耳道が換気され、耳の感染症の防止につながります。

**警告**

補聴器で転送音声を大音量にしていると、アラームや交通騒音などの他の重要な音が聞こえなくなる場合がありますのでご注意ください。この場合、転送音声の音量を適切なレベルに調整してください。

**警告****電子機器に影響を与える危険！**

電子機器やワイヤレス機器の使用が制限されている場所では、機器の電源を切る必要があるかどうか確認してください。

**警告**

本製品を無許可で変更すると、製品が破損したり、怪我をしたりする恐れがありますのでご注意ください。承認された部品と付属品のみを使用してください。サポートについては販売店にお問い合わせください。メーカーの許可なく本製品を改造しないでください。本機を改造する場合は、製品を安全に使用するために適切な検査と試験を実施する必要があります。



警告

補聴器使用予定者が以下のいずれかの状態に該当すると聴覚ケア専門家が判断した場合、補聴器を使用する前に認定医に相談するよう助言する必要があります。

- 目に見える耳の先天的奇形または外傷性変形
- 過去 90 日以内の耳からの排膿の既往歴
- 過去 90 日以内の突発性または急速進行性難聴の既往歴
- 急性または慢性の目まい
- 過去 90 日以内の突発性または最近発症した一側性難聴
- 500 ヘルツ (Hz)、1,000Hz、2,000Hz において、聴力測定における気導骨導差が 15 デシベル以上
- 外耳道に著しい耳垢の蓄積または異物の目に見える所見
- 耳の痛みまたは不快感（例：最近または現在の耳の感染症）



警告

皮膚炎、耳垢の過剰な蓄積、めまい、聴力の変化、など通常とは異なる副作用が発生した場合、または外耳道に何か詰まっていると思われる場合は、販売店にご相談ください。



**注意
負傷の危険！**

チューブ/レシーバーケーブル/補聴器は、必ずイヤープースと一緒に使用してください。
イヤープースがしっかり取り付けられていることを確認してください。



**注意
負傷の危険！**

イヤープースを耳に深く入れすぎないように注意して挿入してください。



**注意
負傷の危険！**

ごくまれに、補聴器を外したときにイヤープースが耳に残ることがあります。その場合は、医療専門家に取り出してもらってください。



注意

補聴器を使用しないときは、付属の補聴器ケースまたは充電ケース（該当する場合）に入れ、お子様の手の届かない場所に保管してください。

注意

- 極端な高温から補聴器を保護してください。直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 高湿度から補聴器を保護してください。シャワー中や、メイク、香水、アフターシェーブ、ヘアスプレー、日焼け止めを塗るときには装用しないでください。
- 電子レンジで補聴器を乾かさないでください。
- X線検査、MRI検査、稼働していないMRIやCTスキャンの近くなど、さまざまな種類の強い放射線は、補聴器に損傷を与える可能性があります。電気外科手術（ジアテルミー、電気メス、高周波手術）のような処置中は、補聴器を装用しないでください。電気外科手術（ジアテルミー、電気メス、高周波手術）のような処置中は、補聴器を装用しないでください。無線機器や空港のセキュリティなどからの弱い放射線は、補聴器を損傷しません。
- 本機は国際規格に準拠しています。ただし、市場に出回っているすべての製品が干渉なく機能することは保証できません。例えば、一部のIH調理器、電磁波セキュリティシステム（盗難防止システムや金属探知機など）、携帯電話、RFID、室内監視システムは、可聴音の干渉を引き起こす可能性があります。そのような機器の近くで雑音が発生する場合は、補聴器と雑音発生源との距離を離してください。
- 補聴器は、電磁両立性に関する国際規格に準拠するよう設計されていますが、近くにある電子機器と干渉する可能性があります。そのような場合は、干渉源から離れてください。
- 補聴器、アクセサリ、梱包材は、地域の規則に従ってリサイクルしてください。

- 重大な事故が発生した場合は、その発生を機器の製造元およびユーザーおよび/または患者が居住する管轄当局に報告してください。
- 環境汚染を避けるため、電池や補聴器を家庭ゴミとして捨てないでください。電池や補聴器は、地域の規則に従ってリサイクルまたは廃棄してください。

お客様の補聴器

はじめに

新しい補聴器をご購入いただきありがとうございます。

本補聴器は、充電式リチウムイオン電池を使用します。必ず WPT301 または WPC301 充電器で充電してお使いください。充電池は内蔵されており、交換できません。

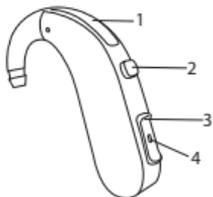
慣れるまでに少し時間がかかるかもしれませんが、補聴器を継続的にお使いください。補聴器を頻繁にお使いいただくことで、補聴器の効果を余すことなく実感いただくことができます。

注意

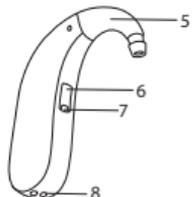
この取扱説明書に掲載されている補聴器、イヤセット、付属品の図は、お客様のものとは異なる場合があります。また当社は、必要な変更を行う権利を有します。

各部の名称

図は、イヤークリップを除いた補聴器本体を示しています。イヤークリップの詳細については、イヤークリップのマニュアルを参照してください。イヤークリップはチューブ、イヤークリップまたはイヤーマールドで構成される、耳の内側に装着する補聴器の一部です。



1. マイク入音口
2. プログラムボタン / オン/オフスイッチ
3. 音量コントロール
4. ライトインジケータ
5. フック
6. 識別ラベル(モデル&シリアル番号)
7. 左右識別マーク。青は左側の補聴器、赤は右側の補聴器を示します。
8. 充電用端子



注記



補聴器にフックまたはアダプターが付属している場合、フックやアダプターは補聴器に固定されているため、取り外さないでください。

使用条件

ご使用にあたって

本補聴器は、聴力障害の重症度が最低（10 dB HL）から高度（105 dB HL）の範囲にある生後 36 ヶ月以上の方を対象とした、あらゆる難聴に対応する機器です。

これらは、聴力リハビリテーション施設において訓練を受けた資格を持つ聴覚ケア専門家（聴覚士、補聴器専門家、耳鼻咽喉科医）により処方される必要があります。

充電付き補聴器

充電付き補聴器は、36 ヶ月未満のお子様または知的障害のある方は使用できません。

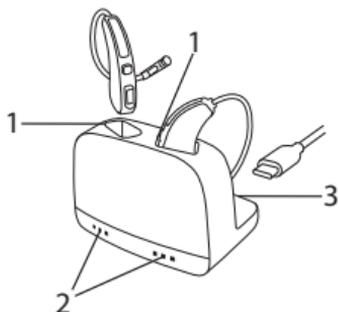
意図する目的/意図する使用

補聴器は、聴覚障害者の聴力を改善することを目的としています。補聴器の診断と処方、音響技師、聴覚士、耳鼻咽喉科医などの聴覚の専門家が行う必要があります。

補聴器には、静寂な環境で背景音を聴くことを楽しみたい大人の方にリラックスした音背景（音楽/ノイズ源）を提供するよう意図されたゼンプログラムが含まれている場合があります。

充電

毎日補聴器を充電することを推奨しています。下図は充電器の各部を示したものです。



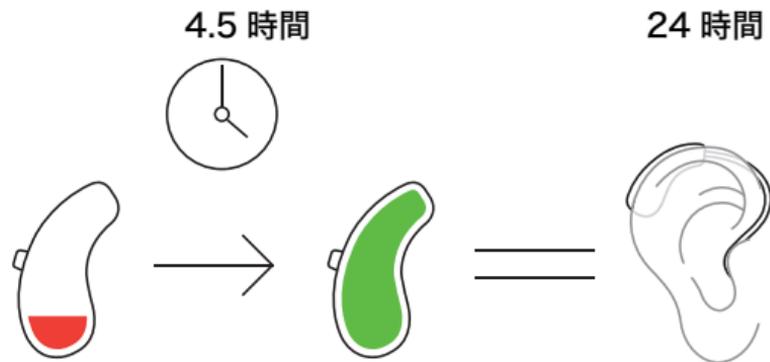
1. 充電スロット
2. ライトインジケータ
3. USB-C ポート

補聴器の充電方法に関する詳細は、充電器の取扱説明書を参照してください。

使用時間&充電時間

補聴器を完全に充電するには約 4.5 時間かかります。

補聴器を完全に充電した状態から、通常の聴き取り環境であれば、次回充電するまで 24 時間以上使用できます。



電池残量低下のアラートが鳴った場合、残りの使用可能時間は長くても 3~4 時間です。早めに充電してください。電池残量がほとんどなくなると、補聴器の電源が切れます。

難聴の程度、使用環境、ストリーミングによる音声伝送は、使用可能時間に影響する要因となります。例えば、伝送サービスを使用すると、補聴器の使用可能時間は短くなります。

動作と充電の条件

この補聴器は、日常生活での使用を意図しており、通常的生活環境で機能します。機内での使用は可能ですが、入浴時（シャワーを含む）や水泳を行う場合および睡眠中は必ず外してください。

動作条件

	最低	最高
温度	0 ° C (32 ° F)	50 ° C (122 ° F)
相対湿度	5%	93%
気圧	700 mbar	1060 mbar

充電条件

	最低	最高
温度	10 ° C (50 ° F)	35 ° C (95 ° F)
相対湿度	20%	75%

使用せず長期保管する場合

長期間補聴器を使用しない場合、補聴器を完全に充電してから、ケースに入れて保管してください。保管前に必ず補聴器の電源を切ってください。

回復不能な電池の過放電を防ぐため、必ず補聴器を6ヶ月ごとに充電してください。過放電した充電池を再度充電することはできません。交換が必要となりますので販売店にご相談ください。当社は、6ヶ月に1回以上の頻度で充電することを推奨しています。

保管と輸送条件

この補聴器は、高温など過酷な条件の影響を受けやすい製品です。必ず直射日光の当たらない、以下の条件を満たした場所でのみ保管、輸送してください。

保管条件

	最低	最高
温度	10° C (50° F)	40° C (104° F)*
相対湿度	10%	80%**

輸送条件

	最低	最高
温度	-20° C (-4° F)	60° C (140° F)
相対湿度	5%	90%
気圧	700 mbar	1060 mbar

この補聴器の技術データシートは www.widexpro.com/documents を、追加情報は www.widex.com をご覧ください。

* 推奨温度は 10° C ~ 25° C です。

** 推奨相対湿度は 20 ~ 80% です

使用方法

補聴器電源のオン/オフ

補聴器の電源を入れる方法は2つあります。

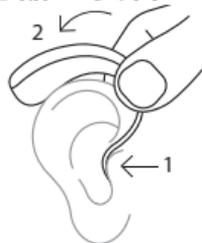
1. プッシュボタンを数秒間長押しします。その後さらに数秒経つと、音量コントロールのライトインジケータが緑色に点滅し、電源が入ったことを知らせる補聴器のお知らせ音が鳴ります。(販売店がこの機能を無効に設定している場合を除く。)
2. 補聴器を充電器から外します。数秒後、自動的にオンになります。音量コントロールのライトインジケータが緑色に点滅し、電源が入ったことを知らせる補聴器のお知らせ音が鳴ります。

補聴器の電源を切る方法は2つあります。

1. 補聴器を充電器に置くと、電源が切れ充電が始まります。
2. プッシュボタンを数秒間長押しします。最後のお知らせ音が鳴り、音量コントロールのライトインジケータが赤色に点滅します。

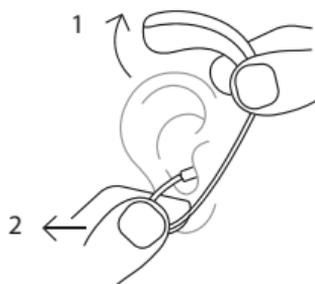
補聴器の装着と取り外し

補聴器の装着



1. イヤチップを外耳道に挿入します。同時に耳を後方、上方に引っ張ると装着しやすくなります。
2. 補聴器を耳の上部に装着します。イヤチップを外耳道に固定しながら補聴器を耳に当てると効果的です。補聴器が耳と頭の間ぴったりと収まります。

補聴器の取り外し



1. 初めに補聴器を耳の後ろから取り外します。
2. イヤワイヤの下部を持ちながら、イヤチップを外耳道から注意深く外します。

様々なタイプのイヤセットを使用し、補聴器を装着することができます。イヤセットの詳細については、別冊のイヤセットのマニュアルを参照してください。

カスタマイズ

プログラム

この表には、選択できる各プログラムの概要がまとめられています。詳細については販売店にお尋ねください。

プログラム	用途
ユニバーサル (万能)	あらゆる状況で最適な聞こえを提供することを重視した自動プログラム
PureSound	あらゆる状況で自然な聞きやすい音を提供することを重視した自動プログラム
ミュージック	音楽を聴くためのプログラム
テレコイル	このプログラムでは、補聴器の誘導ループを通して聞くため、周囲の騒音なしに必要な音声を直接聞くことができます (誘導ループシステムが必要です)
TV Play	テレビの音声を聞くために設計されたプログラム。TV Play 2 に補聴器をペアリングすると TV Play が自動的に作成されます。

リストに記載されているプログラム名は既定のもので、販売店では、あらかじめ選択されたリストにあるプログラム名を選択することもできます。この機能では、それぞれの状況に合ったプログラムをより簡単に選択できます。

お客様の聴力に応じ、販売店がオーディビリティエクステンダーの機能を有効にします。この機能でメリットが得られるかどうかについては販売店にお尋ねください。

後にお客様の必要性やお好みが変わった際、販売店はプログラムの選択を簡単に変更することができます。

音声とライトインジケータによるお知らせ

音声またはライトインジケータのお知らせ機能が不要な場合には、無効にすることも可能です。販売店にご依頼ください。

プログラムのお知らせ音

補聴器は、使用中のプログラムを音でお知らせします。また、プログラムの変更が行われた場合にもお知らせ音が鳴ります。

ライトインジケータの概要

ライトインジケータ

ステータス

緑色で点灯



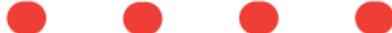
補聴器の電源が入っています

緑色で1回点滅



補聴器の電源が入りました
電池は20%以上充電されています

赤色で4回点滅



補聴器の電源が入りました
電池の残量は20%未満です

赤色で3回点滅した後、赤色で点灯



補聴器の電源は切れています

緑色で6回点滅



補聴器はBluetooth機器と
ペアリングされました

5秒ごとに赤色で連続点滅



補聴器の電源が入りました
電池の残量は5%未満です

プッシュボタンの音声とライトインジケータによるお知らせ

プッシュボタン お知らせ音の種類 お知らせ音の説明

プログラムの切り替え	ビーブ音	別のプログラムに切り替えると、ビーブ音が鳴ります。
電源オン	ビーブ音とライト表示	ライトインジケータが緑色に点灯し、補聴器の電源が入っていることを示します。
電源オフ	ビーブ音とライト表示	ライトインジケータが赤色に3回点滅し、補聴器の電源が切れていることを示します。

通信相手未検出時の警告

販売店は、片方の耳の補聴器がもう片方の耳の補聴器に接続されない場合、補聴器が警告を発する機能をオンにすることができます。言葉によるメッセージが聞こえます。

音とプログラムの調整

ALLURE アプリ

スマートフォンと ALLURE 補聴器を ALLURE アプリで接続すると、音声を伝送したり、補聴器の機能をコントロールしたりできます。例えば、補聴器の聞こえのカスタマイズ、プログラムの変更、音量の調整、ミュートの切り替えなどの操作を行うことができます。

リモコン

リモコンをお使いの場合、お客様の必要性やお好みに応じて快適に聞こえるよう、あるいはより聞き取りやすくするよう、手動でプログラムを変更したり、音量を調節することができます。この機能の詳細については、販売店にご相談ください。

補聴器は、周囲の音の環境に応じて出力音を自動的に調整します。

お客様のニーズやお好みに応じ、より快適に聞こえるよう、またはより聞き取りやすくするように手動で調節できます。この機能の詳細については、販売店にご相談ください。

補聴器の設定と機能に応じ、音の設定は両側の補聴器に適用されます。

機能を無効にしていない限り、リモコンの音量ボタンを操作する度に、お知らせ音が聞こえます。音量が最大または最小に達すると連続音が聞こえます。

補聴器を消音にするには、以下の手順に従ってください：

- 長音が聞こえるまでリモコンの音量ボタンの下側を押します

音量を戻すには、

- 音量ボタンの上部を押します、または
- プログラムを変更します

補聴器の電源を切るか、プログラムを変更すると、音量は元に戻ります。

スマートフォンとのペアリング

Bluetooth 経由でスマートフォンに接続する方法

補聴器とスマートフォンをペアリングするには、補聴器を再起動する必要があります。以下の手順にしたがってください。

1. 補聴器を再起動します。
2. 補聴器をスマートフォンの近くに置き、ALLURE アプリの指示にしたがってください。
3. これで補聴器とスマートフォンを使用できます。

注意

補聴器は、再起動後 3 分間のみペアリングモードになります。この間にペアリングしなかった場合、もう一度補聴器を再起動する必要があります。

補聴器をアプリに接続する方法

(設定メニューで) 補聴器とスマートフォンのペアリングを行った後、ALLURE アプリを開くとアプリが自動的に補聴器に接続されます。

iPhone との音信号の伝送

お使いの補聴器は「Made for iPhone」の補聴器です。つまり、補聴器で iPhone の電話に出たり、音楽を聴いたりすることができます。さらに、対応する iPhone や iPad では補聴器を使用してハンズフリー通話ができます。

対応する iOS 機器、ペアリング、音信号の伝送、その他の便利な機能の詳細については、販売店にお問い合わせください。

Android スマートフォンと補聴器を使用する方法

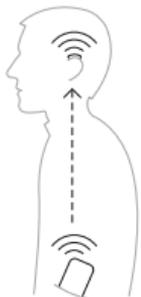


補聴器と Android スマートフォンが Bluetooth でペアリングされている場合、通話中に補聴器に直接音声データが送信されます。

通話中、顔の正面で Android スマートフォンを持ち、スマートフォンのマイクを口に近づけるようにします。これが最高の音質で通話を行う方法です。

iPhone の通話で補聴器を双方向ヘッドセットとして使用する方法

補聴器と iPhone が Bluetooth でペアリングされていれば、通話中に音声データを送受信することができます。iPhone から補聴器に直接音声データが送られます。補聴器がお客様の声を拾って iPhone に送り返します。これにより、外出先でもハンズフリー通話をお楽しみいただけます。



iPhone とペアリングすると、補聴器は自動的に双方向ヘッドセットとして機能します。スマートフォンに向かって話さなくても通話を行うことができます。

補聴器を使用することで、スマートフォンを直接操作することなく電話に出たり、通話が終わると終了したりすることができます。この機能を使用するには、次の手順を実行します。

1. 補聴器のプッシュボタンを押すと、かかってきた電話に出ることができます。
2. 補聴器のプッシュボタンを押して通話を終了します。

ALLURE アプリを使用すると、Call Control を有効にすることができます。Call Control では、耳の上部を指で軽くたたくことで補聴器を操作できます。Call Control は両耳

で有効になっており、どちらの耳を軽くたたいても使用できます。この Call Control が有効になっている状態で、以下の操作を行います。

1. 電話に出るには、耳の上部を指で2回軽くたたきます。
2. 電話を切るには、耳の上部を指で2回軽くたたきます。

また、ALLURE アプリを直接使って、電話に出たり通話を終了したりすることもできます。

Bluetooth 接続を切断する方法

ALLURE アプリの「詳細」メニューから「補聴器の設定」を選択し、「Bluetooth をオフにする」をタップします。補聴器を再起動すると、Bluetooth に再び接続されます。

スマートフォンとの互換性

互換性のあるスマートフォン、タブレット端末等の一覧はこのウェブサイトに掲載されています：

www.widex.com/support/compatibility/

お手入れ

補聴器の性能を維持し、快適に装用するため、耳垢や汚れを取り除いて常にきれいな状態にしてください。



やわらかく乾いた布で補聴器を拭いてください。

マイクの入音口が詰まっている場合は、販売店にご相談ください。

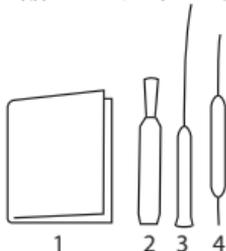
マイクカバーの汚れに気づいたら、そっと息を吹きかけて吹き飛ばすか、やわらかい布で拭き取ってください。

補聴器が濡れたり、汗を多くかいたりした場合は、補聴器を直ちに乾燥させてください。

イヤセットの清掃方法については、イヤセットのマニュアルを参照してください。

用具

補聴器には以下の清掃用具が同梱されています。



1. クリーニングクロス
2. イヤセット用のブラシ
3. イヤセット用の耳垢除去用具
(長)
4. イヤセット用の耳垢除去用具
(短)

ワックスガード

ワックスガードは、イヤチップの後ろにあるレシーバーの入音口に取り付けるフィルターで、レシーバーを耳垢から保護するために役立ちます。必ずワイデックス指定のワックスガードを使用してください。

ワックスガードの交換方法については、イヤークリのマニュアルを参照してください。

Widex CHARGE n CLEAN

Widex 除菌乾燥充電器充電器 WPC301 は、補聴器を乾燥、充電、除菌します。

補聴器を充電中、メンテナンス（紫外線-C 処理と乾燥）が実行されます。

メンテナンスサイクルの所要時間は 90 分です。

アクセサリー

別売りの補聴器用のアクセサリーを使用できます。各種アクセサリーを使用するメリットがあるかどうかについては、販売店にご相談ください。

名称	用途
RC-DEX	リモコン
TV PLAY 2	テレビの音声の直接伝送用
WPT301	補聴器の充電器
WPC301	補聴器用の CHARGE n CLEAN 充電器
ALLURE アプリ	スマートフォン経由で補聴器をコントロールするためのアプリ

トラブルシューティング

補聴器が動かない場合や期待通りに機能しない場合は、この項に記載されている情報を参照してください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

問題	考えられる原因	解決策
補聴器から音が聞こえない	補聴器の電源が入っていない	プッシュボタンを押して補聴器の電源を入れるか、補聴器を充電器に置き、10秒経ってから補聴器を取り外してください
	補聴器が充電されていない	補聴器を充電器で充電してください

問題

考えられる原因 解決策

充電されており、電源も入っているのに補聴器から音が聞こえない

ワックスガードに耳垢が詰まっている。

イヤワイヤからイヤチップを取り外します。ワックスガードに耳垢が詰まっている場合は、ワックスガードを交換します。詳細については、イヤセットのマニュアルを参照してください。サポートが必要な場合は、販売店にお問い合わせいただくことができます。

補聴器の音が小さく感じる

耳に耳垢が詰まっている

医師にご相談ください

問題

考えられる原因 解決策

	<p>ワックスガードに耳垢が詰まっている。</p>	<p>イヤワイヤからイヤチップを取り外します。ワックスガードに耳垢が詰まっている場合は、ワックスガードを交換します。詳細については、イヤセットのマニュアルを参照してください。サポートが必要な場合は、販売店にお問い合わせいただくことができます。</p>
	<p>マイクの入音口が汚れている</p>	<p>マイクの入音口を拭き取ります</p>
	<p>聴力が変化した</p>	<p>販売店/医師にご相談ください</p>
<p>ピーツというハウリング音が常に聞こえる</p>	<p>耳に耳垢が詰まっている イヤセットが適切に取り付けられていない</p>	<p>医師にご相談ください 「補聴器の装着と取り外し」を参照してください</p>

問題	考えられる原因	解決策
補聴器が両方同時に動作しない	補聴器間の通信が途絶えている	補聴器の電源を入れ直してください
アクセサリで音量調節やプログラムの切り替えをしても両方の補聴器が反応しない	アクセサリが通信圏外で使用されている	アクセサリを補聴器に近づけてください
	強い電磁干渉がある	既知の電磁干渉源から離れてください
	アクセサリが補聴器に対応していない	販売店にお問い合わせの上、アクセサリが補聴器に対応していることを確認してください
ヘッドセットを補聴器の上に乗せると補聴器がオフになり、ヘッドセットを外すと補聴器がオンになる。	ヘッドセット内部の磁石が補聴器に近すぎる	別のヘッドセットを使うか、補聴器の上に別のヘッドセットを置いてみて、うまくいくかどうか試してみてください

注意

この対処方法はこの補聴器本体のみに該当します。お使いのイヤセットの詳細については、「ワイデックス補聴器イヤセット」を参照してください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

機内での使用について

飛行機で旅行する場合は、補聴器（HA）と充電器、その他の補聴器用アクセサリを機内持ち込み手荷物に入れることが重要です。補聴器はフライト中、耳に装着することができます。

アプリを使用して補聴器の Bluetooth 接続を切断する必要があります。補聴器がスマートフォンに接続されていない限り、補聴器から 2.4 GHz 無線送信が行われるおそれはありません。

規制情報

EU 指令

指令 2014/53/EU

ここに、WSAUD A/S は、この ABRD1 が、指令 2014/53/EU の基本的要求事項および他の関連規定に準拠していることを宣言します。

ABRD1 には、以下の条件で作動する無線送信機が搭載されています。10.6 MHz、 $-30 \text{ dB}\mu\text{A/m}$ @10 m、2.4 GHz、最大 1.0 mW。

2014/53/EU に準拠した適合宣言書のコピーは、以下をご覧ください。

www.widex.com/doc

無線性能が低下する可能性を防ぐため、必ず補聴器を他の無線通信機器から 25cm (10 インチ) 以上離してください。



R

202-JMV028

廃棄に関する情報

補聴器、アクセサリ、充電器は通常のごみと一緒に捨てないでください。

補聴器、アクセサリ、充電器は、地区の定める電気・電化製品の処分方法に従って処分するか、購入元に安全な処分を依頼してください。

FCC/ISED 適合宣言

Contains FCC ID: 2AXDT-RFM017

Contains IC: 26428-RFM017

HVIN: RFM017

Federal Communications Commission Statement

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to

provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Changes or modifications to the equipment not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

ISED Statement / Déclaration d'ISED

This device contains licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

ISED RADIATION EXPOSURE STATEMENT:

This equipment complies with ISED RF radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

To comply with ISED RF exposure requirements, the device must be operated at a minimum distance of 20 cm or more from a person's body.

ISED EXPOSITION AUX RADIATIONS:

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISED établies pour un environnement non contrôlé. Cet émetteur ne doit pas être situé au même endroit ou fonctionner en conjonction avec une autre antenne ou un autre transmetteur.

Pour se conformer aux exigences d'exposition aux radiofréquences d'ISED, l'appareil doit être utilisé à une distance minimale de 20 cm ou plus du corps d'une personne.

記号

WIDEX が製造販売する医療機器の表示に共通して使用される記号（ラベル/IFU/その他）。

記号 タイトル/説明



製造元

製品は、名称および住所が記号の横に記載されたメーカーにより製造されています。該当する場合、製造日が記載されていることもあります。



カタログ番号

製品のカタログ（品目）番号。



取扱説明書を参照

取扱説明書には安全に関する重要なお知らせ（警告/注意）が記載されていますので、製品のご使用前に必ずお読みください。



輸送中および保管中は乾燥した状態を保ってください。



梱包材はリサイクルできます。



製造日の記号。



シリアル番号の記号

記号 **タイトル/説明**



警告

警告記号を伴う事項は、製品のご使用前に必ずお読みください。



WEEE マーク

「一般廃棄物ではありません」製品の廃棄については、危険物質による環境や人の健康を害するリスクを防ぐため、指定されたリサイクル・回収場所に廃棄してください。



CE マーク

製品は、CE マークに関する欧州指令によって定められた要件に適合しています。



RCM マーク

製品は、オーストラリアとニュージーランド市場に供給される製品に対する電気安全性、EMC、無線スペクトル規制要件に準拠しています。



医療機器

本機器が医療機器であることを示します。



技術基準適合証明マーク

この製品は日本の技術基準適合証明を受けたものです

ライセンスと確認書

オープンソースに関する確認書

本機は、サードパーティのオープンソースソフトウェアリソースを利用しています。以下に、オープンソースのリソースとライセンスの全文を示します。

scmRTOS

Copyright (c) 2003-2015, scmRTOS Team

scmrtos/LICENSE at master · scmrtos/scmrtos · GitHub

Licensed under the MIT license

cJSON

Copyright (c) 2009-2017, Dave Gamble and cJSON contributors

cJSON/LICENSE at master · cJSON/cJSON · GitHub

Licensed under the MIT license

MIT license

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell

copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

W S オーディオロジージャパン株式会社
製造販売元 W S オーディオロジージャパン株式会社
〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1
三機大和ビル6F
TEL 0120-332-604 FAX 0120-332-394
許可番号 14B2X00018 管理医療機器



WSAUD A/S

Nymoellevej 6, DK-3540 Lyngbe, Denmark
www.widex.com



取扱説明書番号:
9 514 1112 016 01
発行:
2025-11

